



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

武蔵小金井雲母保育園



テーマ【 自然探索 】

設定した理由・背景

自園のある小金井市が自然に恵まれており、年間通して四季折々の自然物がある為、その環境を生かし子ども達が自然物を使用し、様々な物を作る事で探求心を育てたいと共に、栽培活動にも力を入れ、様々な物を育てたいという気持ちを育む為。

用意した環境設定

近隣の自然が多い公園に行き、子ども達が自由に自然探索を楽しめるように配慮し、持ち帰った自然物で作品を作れるように作品の提案、材料の用意をした。

購入品

花の土、プランター、万華鏡セット

活動のあゆみ

4月～、散歩時、自然探索、収集

(暫定三丁目広場、栗山公園、梶野公園、くじら山公園、小金井公園等)

5月～花の栽培、花を使って押し花しおり作り

8月、お泊り保育 (奥多摩アメリカキャンプ村)

9月、お泊り保育振り返り作品作り

2月、万華鏡作り

✿探究活動の実績✿

①問い

子ども達が自然探索で自然物を収集し、様々なものを作る事で何が出来るかの「わくわく感」を味わうと共に探求心を育てるような活動を取り入れた。栽培活動では、子ども達が花の種を選び、どうしたら上手に咲かすことが出来るかを考えながら育てた。

②子どもたちの反応とそれに対して保育者側から行った声かけ

子ども達は自然物に興味を持ち、探索を楽しんでいた。お泊り保育で探した自然物が作品になる事に興味を持ち、一生懸命制作活動をしていた。万華鏡作りでは、中身を変えると、違う模様になる事を保育士が声かけし、様々な自然物を入れ替えていた。

③活動中の子どもたちの姿・声、

子ども達は楽しんで参加していた。自然物の探索だけでなく、収集やその後の作品作りと繋がっていく事に興味を持って参加する姿が見られた。栽培では、自分たちで育てる事に喜びを感じるとともに「どうしたら、枯れないか」や肥料はどんなにするかを子ども達同士で考えたり、調べたりして探求する気持ちが育つ過程が見られた。お泊り保育では現地で姉妹園の園児や職員と一緒に自然物の観察、採集をして、意見交換をしながら交流した。

④終わりの時期の姿・まとめ

活動を通して、日々の保育中に自分たちで意欲的に自然探索や収集する姿が見られた。栽培では、成長を楽しみながら、育つ過程に興味を持ち、観察日誌をつけ、どうしたら枯れないか、子ども達同士で考えたり、保育士に聞いて解決していた。



公園で自然探索をし、集めています。



お泊り保育で集めてきた葉っぱを使って作品を作りました



集めた物で万華鏡を作りました

まとめ

この活動を振り返り、子ども達が今までは探索を楽しんでいたが、その先に繋がる事に興味・関心を持つことが出来て、子ども達の探求心を育てる事が出来た。

また、お泊り保育では現地で姉妹園交流をはかりながら、いつもとは違う自然との触れ合いを楽しみ、自然との触れ合いを通して探求心や自立、協調が育つことが出来た。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

武蔵小金井雲母保育園



テーマ【異文化コミュニケーション】

設定した理由・背景

多様性という今の時代、保育園の中でも多様な国の園児がいる為、様々な国の言葉や文化、食事などに子ども達が興味や探求心を持って欲しい。また知る、学ぶことで子ども達の世界も広がる為。

用意した環境設定

子ども達、全員が参加できるようにスクリーン、プロジェクターを用意し。スクリーンに子ども達が向かって座り参加、ダンスやワーク等の内容により、机や椅子の位置を変更した。

購入品

サインペン、画用紙

活動のあゆみ

4月から4.5歳児が週に3回(月・水・金)

13:00～ZOOMにてセブ島のクリス先生と英語のレッスンをを行う

13:00～4歳児ぱんだ組

13:15～5歳児ぞう組

年間の中で特別レッスン(ハロウィン・クリスマス等)や毎週金曜日はカードや塗り絵などを行う

2か月に一度、異文化探求プログラムがあり、その日は30分間1クラスが行う。

✿探究活動の実績✿

①問い

子ども達が自分の国とは違う国に興味を持てるように、世界地図や国旗などを用意し、「好きな国旗はあるかな」「知ってる国はあるかな」「英語で犬はなんていうのかな」等、興味がある事から問いかけを行った。

②子どもたちの反応とそれに対して保育者側から行った声かけ

世界地図をみながら、大きい国や小さい国、知ってる国、また、この国旗が好きなど、思い思いに興味を持つ姿が見られた。保護者は子ども達にレッスン後の感想や内容を毎回聞いてもらうように声かけを行った。

③活動中の子どもたちの姿・声

4.5歳児ともに初めは緊張する姿も見られたが、楽しんで参加していた。回を重ねるごとに先生の国の天気や動物、食べ物などに興味を持ち「先生の好きなもの、好きな食べ物、好きなキャラクター」など、自ら先生に質問をする姿が見られた。それと同時に自分の国や自分たちの事も先生に知って欲しいという姿も見られ、子ども達同士で質問を考え、「こんなことを言おうかな」「これは伝えたいな」など話し合ったり、伝える事ができ、達成感を味わっていた。

④終わりの時期の姿・まとめ

子ども達は自らレッスンに参加することが出来、保育士は見守る形の参加となった。自ら先生への質問に手を挙げる子どもが増え、「最初は恥ずかしかった」という子どもも後半には大きな声で参加していた。自分の国以外の様々な国への興味が広がった。で参加していた。

英語の歌やダンスなどを子ども達から毎日やりたいという声が上がリ、普段の保育中も行っていたり、発表会では「ハロー-song」だけでなく世界の挨拶を保護者に伝えたいと意見があり、みんなで世界の挨拶を調べ、披露することが出来た。また子ども達の中で英語を披露したいという気持ちが芽生え、見学の方やお迎え時の保護者に「Hello」と挨拶したり、朝の会ではお休みの子を英語で伝えたりする姿が見られた。



クリス先生とZOOMでレッスンします



○×クイズ子ども
元気にノリノリで参加しています。



正解して喜ぶ姿が見られます。

まとめ

この活動を振り返り、子ども達が英語に興味を持つと共に講師の先生の国について興味を持っていた。また自分たちで先生にする質問を考えたり、他児と協力しながら考えたり姿する姿が見られ、探求心が育っていた。特に歌やダンスは耳に入りやすく、普段の保育活動の中でも歌ったり、踊ったりして発展させることができた。15分という時間が子どもも飽きることなくレッスンに参加することが出来ていたので活動中の子ども達の反応や興味や関心に着目し、子どもの声を聞きながら環境構成や活動内容を等を今後も考えていきたい。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

武蔵小金井雲母保育園



テーマ【音】

設定した理由・背景

様々な楽器に触れたり、和楽器と洋楽器を組み合わせにより、生まれる新しい音の発見や音の振動の違い等も目で見ることで音よっての動きの変化を探求し興味や関心を深めて欲しい為。

用意した環境設定

ヴィブラスラップ、ギロ、スレイベル、グロッケン、スネアドラム、大太鼓

購入品

和太鼓、譜面台、パラバルーン

活動のあゆみ

毎月第三木曜日

テーマ：前期(4月～10月)

いろいろな音をだしてみよう。

音の組み合わせをたのしもう。

音に合わせてパラバルーンや太鼓を叩こう。

後期: (11月～3月)

自分の好きな楽器(音)を見つけよう

みんなで演奏してみよう

✽探究活動の実績✽

①問い

和太鼓や様々な楽器の音の違いを知る。「どんな音がでるの」「どうやったら音がでるの」等、探求心を引き出し、身近なものとの組み合わせではどうなるか発展させた。

②子どもたちの反応とそれに対して保育者側から行った声かけ

楽器ごとの違う音や叩き方による音の変化、また音の組み合わせなどを楽しんでいた。保護者は子ども達にレッスン後の感想や内容を毎回聞いてもらう。

③活動中の子どもたちの姿・声、

子ども達は楽しんで参加していた。最初のうちは楽器から、「どんな音が出るんだろう」「どうやったら音が出るんだろう」と考えたり問いかける姿が見られたが、回を重ねるごとに、楽器の使い方、音の鳴らし方などを分かるようになり、自分の好きな楽器や音を見つけたり、叩き方や他の物との組み合わせを自分たちで見つけ、最初は和太鼓の音に怖がっていた子どもも他児が触れることで、自分で叩き始め、楽しむ様子が見られた。パラバルーンでは音楽に合わせて音を自分たちで決めたいという声も上がり、みんなで意見をぶつけ合いながら決めた、パラバルーンや和太鼓は運動会では保護者の前で披露した。

④終わりの時期の姿・まとめ

④終わ「最初は恥ずかしかった」という子どもも後半には大きな声で参加していた。

子ども達だけで、いろいろな音を出してみたり、様々なものとの組み合わせを自分たちで探求し、楽しんでいた。

最後は好きな楽器を自分で選び、演奏する歌は「これがいい」「これやりたい」と様々な声上がり、子ども達の意見の中から「散歩」や「勇気100%」

「ようかいしりとり」を演奏し、合わせるというより、みんなが好きなように音を出す、演奏会になった。

太鼓は側面の穴や模様にも「なんだろう」や「素敵だな」など興味を持っていた。



様々な楽器に興味を持つ子ども達。



運動会では和太鼓を披露しました。



音に合わせてパラバルーンを楽しみました。

まとめ

この活動を振り返り、音というテーマの中で音だけでなく振動や太鼓の形状にも興味を持つ姿が見られ、子ども達の探求心を感じる事が出来た。またどんな物を楽器と組み合わせたら楽しいかと子供たちだけで考える姿も見られたため、活動中の子ども達の反応や興味や関心に着目し、子どもの声を聞きながら環境構成や活動内容も発展させた。

保護者への展開として、運動会で和太鼓やパラバルーンを披露出来た。来年度も、子ども達の探求心を育てていきたい。